

## 先人から学ぶわらの文化

### 取組に至る背景・事業の目的

- ふるさと交流木曾では、廃校となった旧黒川小学校の校舎を活用して、木曾の工芸伝統、文化、郷土食、農林業等を都市や地元住民に伝え、交流する事業を行っている。
- 最近、「わら」の存在が見直され、草履や背あてミノ、わらじ等を要望する人が増えつつある。
- 先人たちが生活の中から作り伝えてきた「わらの文化」は、生活の文化の変化とともに忘れられ、消えようとしている。高齢化により、わらを扱える人も伝承する人も少なくなってしまった。
- わら細工を資料として残すだけでなく、先人の知恵と工夫、作る技術を次世代へつなげていくことを目指して、指導者養成に取り組んだ。

### 事業内容

今でもわら細工を伝えている人を講師に招き、その技術を学んだ。

- わら細工の指導者養成講座  
「先人の知恵に触れる！『わら細工伝承講座』」
- 製作内容：  
草履、背当ミノ（「コセガタ」）、円座、わら馬等
- 実施回数：10回
- 参加人数：のべ68人



【コセガタづくり】

### 事業効果

- 今回の講座により、6人の新しい指導者を養成することができた。  
地元を中心に、郡外からも受講者があった。
- 作品の作り方だけでなく、わらの刈り取り方法や保存の仕方、加工の方法等についての講習を通して、先人の知恵や工夫を知ることができた。
- 習得した技術を活かし、昔から使われてきたわら細工を工芸品として復活させ、地域活動につなげていきたい。



【円座づくり】

### 工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

コセガタはこれまで講師も作った経験が無かったため、見本を頼りに試行錯誤しながら指導をしていただいた。

円座など大型の作品は大変な手間がかかり、講座の時間内では間に合わないため、受講者は各自宿題を持ち帰って自宅で作業をしたり、補講をしたりしてなんとか完成させることができた。

今後も同様の講座を継続することで、また新たな参加者を加えつつ、これまでの受講者が技術を確実に身に付け、わらの文化を未来へとつないでいけるように取り組んでいきたい。

#### 【選定のポイント】

地元の中核メンバーに加え郡外からも受講者があり、目標を上回る指導者養成につながった。補助事業後も参加費と自主財源での実施に発展しており、住民の共感を得て、着実な展開が期待される事業としてモデル的であり、費用対効果も高い。

団体名 特定非営利活動法人ふるさと交流木曾 (木曾町) 連絡先 電話：0264-27-1011 担当：桑村恭彦 ホームページ <a href="http://www.taikenkan.jp/">http://www.taikenkan.jp/</a> メールアドレス <a href="mailto:npo-furusato@taikenkan.jp">npo-furusato@taikenkan.jp</a>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">事業タイプ</td> <td style="padding: 2px;">ソフト事業</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">事業費</td> <td style="padding: 2px;">239,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">支援金額</td> <td style="padding: 2px;">238,000円</td> </tr> </table>	事業タイプ	ソフト事業	事業費	239,000円	支援金額	238,000円
事業タイプ	ソフト事業						
事業費	239,000円						
支援金額	238,000円						